

第38表 性別、年齢別高血圧比率

最高血圧 150 mmHg 以上  
最低血圧 90 mmHg 以上

単位=%

年 令	最 高 血 圧		最 低 血 圧	
	男	女	男	女
20 ~ 24 才	10.2	3.1	8.6	4.9
25 ~ 29	8.7	3.3	10.2	7.8
30 ~ 34	8.3	5.5	13.8	10.6
35 ~ 39	8.5	8.7	15.5	12.4
40 ~ 44	15.1	14.0	21.5	18.7
45 ~ 49	22.4	21.6	32.1	25.6
50 ~ 54	30.3	31.7	31.9	32.7
55 ~ 59	41.9	40.9	39.4	36.8
60 ~ 64	51.8	52.5	48.3	45.9
65 ~ 69	56.9	66.0	41.4	51.1
70 ~	67.3	74.1	45.6	53.5

### 性別高血圧比率

昭和35年度成績から性別高血圧の比率をみると第38表のとおりで55~59才の年齢層までは男子が僅かに女子を上回るが60~64才をこえると女子の方が多くなり70才以上では74.1%にまで達する、これを最低血圧についてみると60~64才の年齢層までは男子が女子に比べて上回っておりが65~69才になると最高血圧同様、女子が男子を上回り70才以上では53.5%に達する。

### 業態別、性別高血圧比率

高血圧比率を業態別、性別にみると30~34才の年齢層までは一般に女子の方が低いですが35~39才から45~49才になると消費者世帯の男子、消費者世帯の女子、生産者世帯の女子、生産者世帯の男子の順となる。しかし50~55才をすぎると消費者世帯の女子は上昇をつづけて70才以上では75%に達する。

最低血圧についてみると45~49才にかけては消費者世帯の男子が最も高く、また50~54才をすぎると消費者世帯の女子が高くなり65~69才では高血圧比率が57%に達する。

## 8. 食 材 料 費

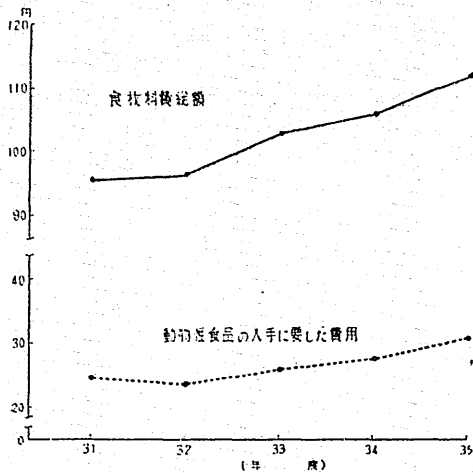
### 1) 全国1人1日当り食材料費

全国1人1日当りの食費は112.22円（うち動物性食品の入手に要した費用30.96円）で前年の105.64円を6.2%上回っている。これは前年の上昇率2.4%を更に大きく上回る増加である。特に動物性食品費は前年に比べ12.5%もの伸びがみられる。

次に食材料費の総額中に占める食品群別の構成比をみると穀類は33.4%で前年の36.1%より低くなっているが、豆類5.0%、魚介類13.4%、肉、卵、乳類14.2%、野菜類6.4%、果実類5.4%などいずれも前年より増加の傾向がみられる。

### 2) 業態別1人1日当り食材料費

第7図 全国1人1日当り食材料費年次推移



業態別に食材料費をみると消費者世帯の食材料費が最も高く122.83円で前年より6%増加しており、次いでその他の世帯98.13円、生産者世帯95.63円となっている。

この食費を昭和32年度に比較すると消費者世帯は総額で18.2%そのうち動物性食品は29.6%と大きく伸びている。

これに対し、生産者世帯は総額で9.0%、動物性食品は19.8%の増加であり、ここ数年の国民所得の増加によって都市生活者を中心とする消費者世帯では食材料費も大きな伸びを示しているが、自家生産物に対する依存度の高い生産者世帯では動物性食品を除いては特に大きな伸びは認められない。

第39表 1人1日当り食材料費および比率

	金額 円				構成比 %				対前年比 %			
	金額	生産者世帯	消費者世帯	その他世帯	全国	生産者世帯	消費者世帯	その他世帯	全国	生産者世帯	消費者世帯	その他世帯
総額	112.22	95.63	122.83	98.13	100.00	100.00	100.00	100.00	+ 6.2	+ 2.0	+ 6.0	+ 8.5
穀類	37.48	37.89	37.52	34.62	33.4	39.6	30.5	35.3	- 1.7	- 7.3	+ 3.2	- 3.9
いも類	2.71	2.95	2.55	3.00	2.4	3.1	2.1	3.1	+ 8.8	+19.4	+ 2.4	+14.9
豆類	5.63	5.44	5.76	5.44	5.0	5.7	4.7	5.5	+ 2.6	+ 3.2	+ 0.3	+17.2
魚介類	15.06	11.54	17.06	14.78	13.4	12.1	13.9	15.1	+10.5	+ 9.5	+ 6.1	+23.9
肉・卵・乳	15.91	8.66	20.54	9.68	14.2	9.1	16.7	9.9	+14.5	+19.1	+ 6.5	+ 9.9
野菜類	7.13	7.29	7.07	6.84	6.4	7.6	5.8	7.0	+12.5	+17.6	+ 9.3	+13.1
果実類	6.08	3.97	7.43	4.42	5.4	4.2	6.0	4.5	+13.0	+ 3.9	+10.9	+26.3
その他	22.22	17.89	24.90	19.35	19.8	18.7	20.3	19.7	+11.0	+10.4	+10.9	+11.4

第40表 1人1日当り食材料費および比率 (消費者世帯細分・35年5月)

	金額 円				構成比 %				対前年比 %			
	事業経営世帯	常用勤労世帯	日雇・労働者世帯	その他消費者世帯	事業経営世帯	常用勤労世帯	日雇・労働者世帯	その他消費者世帯	事業経営世帯	常用勤労世帯	日雇・労働者世帯	その他消費者世帯
総額	119.32	123.44	96.16	108.37	100.00	100.00	100.00	100.00	+ 0.3	+ 6.9	+ 3.7	- 2.0
穀類・いも類	38.91	38.28	40.75	38.26	32.6	31.0	42.4	35.3	- 3.8	+ 3.2	+ 2.2	+ 1.5
魚介類	16.22	15.95	12.82	14.68	13.6	12.9	13.3	13.5	- 2.8	+ 1.0	+ 2.7	- 6.5
肉・卵・乳	19.38	21.94	10.15	15.67	16.2	17.8	10.6	14.5	+ 6.5	+12.0	- 1.6	- 8.3
野菜類	8.45	8.50	7.18	8.45	7.1	6.9	7.5	7.8	+10.3	+ 9.8	+ 4.7	+ 7.6
果実類	5.20	6.05	1.90	5.39	4.4	4.9	2.0	5.0	-15.3	+ 0.3	-17.0	- 5.1
その他	31.16	32.72	23.36	25.92	26.1	26.5	24.3	23.9	+ 4.5	+11.9	+11.8	- 2.6

(イ) 生産者世帯

生産者世帯の食材料費は95.63円で前年に比べて2%の増加がみられる、なお食品群別にみると穀類は37.89円で前年より7.3%低くなっており、その他豆類、魚介類、野菜類等の食品はいずれも増加を示している。

これを更に総額中に占める食材料費の構成比について対前年比をみると穀類は39.6%で4%低くなり、その他食品はいずれも増加がみられる。

#### (ロ) 消費者世帯

消費者世帯の食材料費は122.83円（うち動物性食品の入手に要した費用は37.66円）で前年に比べ6%増加し全業態中最も大きな伸びを示している。

なお食品群別に総額に対する割合をみると穀類は30.5%（37.52円）で前年より若干下回っているが他の食品については、いずれも前年を上回っている。

次に5月調査における消費者世帯を細分した結果についてみると最も大きく伸びを示したのは常用勤労者世帯であり総額123.44円で前年に比べ6.9%の増加となっている、事業経営者世帯は119.32円で前年の118.94円に比べ目立った伸びは認められない。

日雇・家内労働者世帯の食費は96.16円で前年より総額で3.7%増加しているが肉、卵、乳類、果実類は若干減少している。

その他の消費者世帯の食費は108.37円で前年より2%低くなっている、これを食品群別にみると野菜類を除く、その他食品はいずれも減少している。

#### (ハ) その他の世帯

その他の世帯の食費は98.13円で前年に比べ8.5%の増加となっており、前年に比べて穀類が減少している以外は豆類、魚介類、肉、卵、乳類、果実類等いずれも増加している。